

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる

～県民が安心して快適に暮らし続けられる奈良をつくる～

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり

(20) 大規模広域防災拠点の整備

R5 予算案 2,633,500千円
債務負担行為 2,000,000千円

ここまで良くなりました

近い将来、「南海トラフ地震」など大規模災害の発生が予想されています。本県だけでなく紀伊半島エリアを広くカバーする防災拠点が無いため、「大規模広域防災拠点」の整備が必要です。

- 導入すべき機能、施設規模などを取りまとめた「奈良県大規模広域防災拠点整備基本計画」を策定(R3年6月)
- 本拠点を国の南海トラフ地震における応急対策活動に関する計画に位置付け(R4年6月)
- I期・II期の整備に必要なゴルフ場の土地の売買契約を締結
- 災害時に防災拠点としての効果を発揮するため、消防など関係機関と防災拠点の運用に関する会議を実施

もっと良くするために

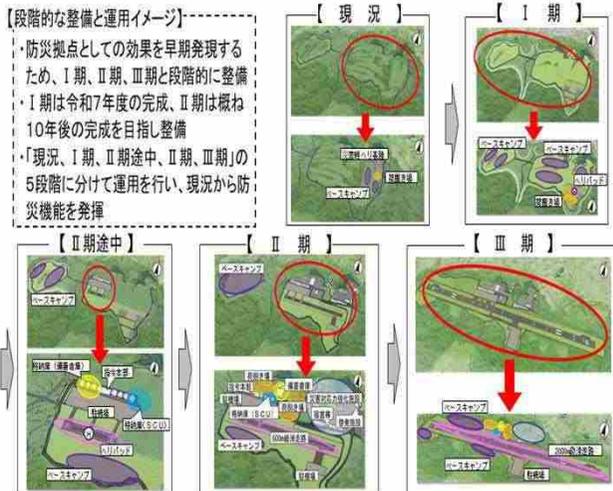
大規模広域防災拠点(2,000m級滑走路付)の早期整備に向けた取組を進めます。

- 用地調査及び交渉を進め、拠点整備に必要な工事用道路等の用地を取得
- 現地測量、地質調査及び実施設計等を進め、I期造成工事等に着手
- 2,000m級滑走路の早期設置に向けた検討
- 京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を經由して国道168号に接続する道路について、現地測量・地質調査等を実施するとともに、新規事業化に向け都市計画手続きを実施

いつ災害が発生しても防災拠点機能を発揮するよう整備段階に応じた運用の具体化に取り組みます。

- 災害時の応援部隊の活動拠点として活用できるよう受入環境整備を検討
- 災害時に現況から直ちに防災拠点として活用するための必要な環境整備、平常時から関係機関による訓練等を実施

【段階的な整備と運用イメージ】
・防災拠点としての効果を早期発現するため、I期、II期、III期と段階的に整備
・I期は令和7年度の完成、II期は概ね10年後の完成を目指し整備
・「現況、I期、II期途中、II期、III期」の5段階に分けて運用を行い、現況から防災機能を発揮



令和5年度予算案 2,634百万円 [債務負担行為2,000百万円]

1. 大規模広域防災拠点の整備 (2,125,000千円、R6・7債務負担行為 2,000,000千円)

- ① 拠点整備に必要な工事用道路等の用地取得
- ② 現地測量、地質調査、実施設計等を進め、I期造成工事等に着手
- ③ 2,000m級滑走路の早期設置に向けた検討

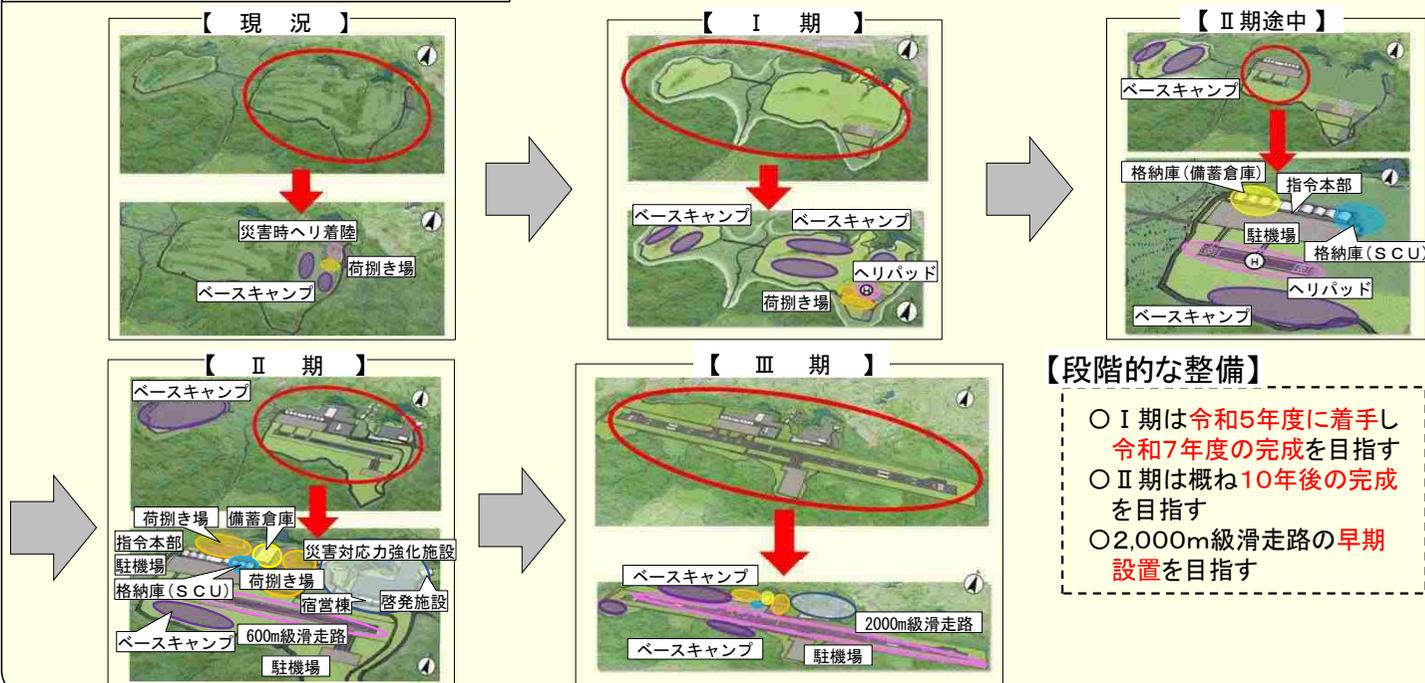
2. 大規模広域防災拠点の整備段階に応じた運用 (404,500千円)

- ④ 災害時の応援部隊の活動拠点としての受入環境を検討
- ⑤ 災害時に現況から直ちに活用するための環境整備、平常時から関係機関による訓練等を実施

3. 京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を經由して国道168号に接続する道路の整備 (104,000千円)

- ⑥ 現地測量・地質調査等
- ⑦ 新規事業化に向けた都市計画手続きを実施

段階的な整備と運用イメージ



【段階的な整備】

- I期は令和5年度に着手し令和7年度の完成を目指す
- II期は概ね10年後の完成を目指す
- 2,000m級滑走路の早期設置を目指す

〈問い合わせ先〉 ①～③ 県土マネジメント部 大規模広域防災拠点整備課 田淵課長補佐(内線4281)
④⑤ 知事公室 防災統括室 藤村室長補佐(内線2246)
⑥⑦ 県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり (21) 消防学校教育の充実、県内消防組織への支援

R5予算案 138,149千円

ここまで良くなりました

火災・救助事案における初動体制が強化されました。

(例：一般建物火災の場合の出動隊数)

①広域化前(旧消防本部)
3~6隊

②広域化後
7~16隊



奈良県広域消防組合の広域消防通信システム整備に対し補助しました。

システム整備(H28年)後の119番通報から病院が受け入れるまでに要した時間が短縮しました。
H28年(44.6分)→H29年(43.7分)→H30年(42.6分)→R1年(41.5分)



救助訓練

奈良県広域消防組合通信指令センター

救急車出動

もっと良くするために

消防学校における教育訓練の体系づくりを進めるなど、教育訓練を充実します。

- 消防学校の管理・運営について、広域消防組合への移管を促進
- 消防学校教育訓練充実検討委員会の設置
教育訓練内容の充実を効果的に進めるために、外部有識者による支援体制を整備
- 教育訓練用資機材の整備
- 消防学校の訓練環境等の整備
消防士育成の唯一の機関であることから、訓練環境も含め計画的に整備
- 県内消防本部派遣教官の人的負担
市町村からの派遣教官の人的負担を軽減し、教育訓練の実施に必要な消防学校教官の確保

広域消防組合のガバナンスの強化(業務・管理・財務)を支援します。



消防学校での訓練(救急救助訓練)

消防学校での訓練(ロープ登はん訓練)

消防学校での訓練(放水訓練)

令和5年度予算案 138百万円

1. 高度で専門的な災害対応能力を育成するための教育訓練環境の整備 (138,149千円)

消防学校の管理・運営について、奈良県広域消防組合への移管を促進

① (新) 消防学校教育訓練充実検討委員会設置

② 教育訓練用資機材の整備



訓練の様子

③ 消防学校本館屋上防水・外壁改修

④ 県内消防本部派遣教官の人的負担



消防学校本館

2. 奈良県広域消防組合のガバナンス強化

⑤ 広域消防組合の管理部門への職員派遣、組合の研修生を県で受入

⑥ 広域消防組合企画調整会議に外部委員として参加

<問い合わせ先>

知事公室 消防救急課 杉野課長補佐(内線2278)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり

(22) 大和川直轄遊水地と流域内水遊水地の整備

R5 予算案 2,431,567千円
 債務負担行為 628,000千円
 R4・2月補正予算案 1,265,900千円

ここまで良くなりました

平成29年10月「大和川流域における総合治水の推進に関する条例」制定

1. 直轄遊水地の整備等 (846,683千円、R4・2月補正 425,900千円)

大和川遊水地の整備(窪田地区、保田地区、三代川地区)
 大和川・佐保川の改修(藤井地区、長安寺地区)



大和川遊水地
保田地区の整備



直轄遊水地の整備

2. 奈良県平成緊急内水対策 (395,740千円)

内水対策に要する市町の実質負担費用に対し、1/2を財政支援

- <R4~5施工(予定)箇所>
 大和高田市(栄町地区)、天理市(庵治町地区)
 御所市(今住地区)、三郷町(勢野東5丁目地区)
 斑鳩町(法隆寺南3丁目地区)
 田原本町(阪手南地区、富本地区)
 王寺町(葛下3丁目地区)
 広陵町(大場地区、中地区、三吉地区)
 河合町(長楽・川合地区)



地下貯留施設 [イメージ図]
(大和高田市)



平成29年台風第21号の際の内水被害状況
(広陵町大場地区付近)

3. 河道掘削、堤防補強等

(1,189,144千円、R6債務負担行為 628,000千円、R4・2月補正 840,000千円)

- 秋篠川
 地藏院川
 竜田川
 葛城川
 広瀬川
 など 22 河川



河道掘削状況(竜田川)



堤防天端の補強

<問い合わせ先>
 県土マネジメント部 河川整備課
 吉田主幹(内線4171)

もっと良くするために

あらゆる関係者の協働による「流域治水」の取組を一層推進し、100年に1度の大雨などにも耐えられることを目標に、洪水対策を進めます。

大和川本川
 ○国は直轄遊水地の整備の加速化とともに、大和川・佐保川の改修を推進

大和川支川
 ○市町と県は連携し、内水による床上・床下浸水被害解消を目指して貯留施設を整備する、「奈良県平成緊急内水対策事業」を一層推進
(財政支援)
 県は市町が内水対策に要する費用の実質1/2を負担



○ R6年度事業中箇所 (赤線)
 ○ 今後事業予定箇所 (赤点線)

令和5年度予算案 2,432百万円

[債務負担行為 628百万円]

令和4年度2月補正予算案 1,266百万円

○河道掘削、堤防補強を実施
交付税算入を認めた
 市町村の実質負担 20.0% (1/5)

○流域水害対策計画に基づき、貯留機能保全区域や浸水被害防止区域を指定

大和川本川 ○国は、外水対策として洪水を一時的に貯留する100万㎡の直轄遊水地の整備(窪田地区、保田地区で工事中)、大和川・佐保川の改修(藤井地区、長安寺地区)を実施

大和川支川
 ○R30年5月に奈良県平成緊急内水対策着手
 ○R33年3月末に田原本町(阪手南地区)に内水対策第1号が完成
 ○R4年度に3箇所(河合町)で新規事業化し、全18箇所を整備推進



【工事中】流域貯留施設(王寺町) 【工事中】地下貯留施設(大和高田市) 大和川流域水害対策協議会

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり (23) 土砂災害対策の推進

R5 予算案 5,473,288千円
債務負担行為 1,597,000千円
R4・2月補正予算案 1,947,460千円

ここまで良くなりました

「奈良県土砂災害対策施設整備計画」に基づき、施設整備(砂防施設、地すべり対策施設、急傾斜地崩壊対策施設)を着実に進めてきました。

○イエロー区域(10,810)・レッド区域(9,832)指定をR2年3月に完了



○R3年度までに、レッド区域内に24時間利用の要配慮者施設がある全ての箇所について、施設整備に着手

○土砂災害・防災情報システムによる土砂災害危険度に関する情報の提供

「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」に基づいた森林の防災機能を重視した施策を始めています。

OR2年4月に「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」を施行

○条例に基づき、県内の森林を4つ(恒続林、適正人工林、自然林、天然林)に区分し、防災等の森林機能を高度に発揮するよう誘導

OR3年4月に「奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」を施行

もっと良くするために

着実なハード・ソフト対策による安全確保とともに、気候変動やコンパクトまちづくり等の新たな課題にも取り組みます。

「奈良県土砂災害対策施設整備計画」に基づく土砂災害対策を着実に進めます。

森林整備やまちづくり等と連携した、新たな課題に取り組みます。

○避難対策

- 土砂災害警戒情報の高度化、高精細化
- 土砂災害の危険を示す看板の設置
- 最新の土地利用を踏まえた土砂災害警戒区域の見直し

○林木への対策

- 奈良県フォレスターの市町村派遣により、針広混交林化による防災機能の高い森林への誘導を強化
- 森林施業の推進
- 流木対策砂防施設の整備

○まちづくりへの対策

- 市町村が設定した立地適正化計画を踏まえた土砂災害対策の検討

○移転対策

- 災害時に利用されるレッド区域内の避難所について安全な他施設への代替を促進

○施設整備

- 避難、移転対策のみでは効率的に被害を減少させることが困難な箇所への対策

○盛土等への対策

- 盛土等に伴う災害を防止するため、宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく規制区域指定等に向けた調査

衛星画像を活用した土地改変行為の監視

令和5年度予算案 5,473百万円 [債務負担行為1,597百万円]
令和4年度2月補正予算案 1,947百万円

1. 砂防施設の整備等

(3,037,693千円、R6~7債務負担行為 1,376,500千円、R4・2月補正 1,532,154千円)

① 砂防設備等の設置により土砂災害から人家等を保全

- ・砂防設備の設置
石ヶ谷(桜井市)、青蓮寺川ヒノ谷(曾爾村)など46カ所
- ・地すべり防止設備の設置
鹿野園地区(奈良市)、坪内地区(天川村)など10カ所
- ・急傾斜地崩壊防止施設の設置
丹生地区(奈良市)、大又地区(東吉野村)など26カ所



砂防設備

地すべり防止設備

急傾斜崩壊防止施設

② レッド区域内避難所を区域外の近接施設へ代替促進



避難所を近隣施設へ代替(大淀町中増)

2. 直轄河川事業費負担金

(1,096,608千円、R4・2月補正 278,837千円)

③ 紀伊山系における大規模土砂災害対策等

長殿地区(十津川村)、栗平地区(十津川村)、神納川 など9カ所



五條市大塔町赤谷

3. ソフト対策による防災・減災

(384,454千円、R6~7債務負担行為220,500千円、R4・2月補正 119,700千円)

④ 地形改変箇所等の土砂災害の基礎調査

- ⑤ 土砂災害にかかる住民への情報発信
- ・土砂災害・防災情報システムの改修
- ・土砂災害警戒区域等の看板の設置

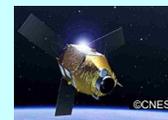


看板の例

4. 砂防指定地の管理・監視の適正化

(34,516千円、R4・2月補正16,769千円)

- ⑥ 衛星画像等のデジタル技術を活用した砂防指定地等の監視・巡視
- ⑦ 砂防指定地管理台帳の更新



衛星画像の活用

5. 林木への対策 (836,017千円)

⑧ 防災機能の高い森林への誘導

- ・施業放置林を混交林(恒続林・自然林)へ誘導整備
- ・生産基盤強化や機械を活用した効率的な木材搬出など、森林施業の計画的な推進による施業放置林化の防止



森林整備が行われた健全な森林

⑨ 砂防設備の設置による流木対策

6. まちづくりへの対策 (10,000千円)

- ⑩ 市町村が設定した立地適正化計画に基づく居住誘導区域内での土砂災害対策の検討

7. 盛土等への対策 (74,000千円)

- ⑪ 宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく規制区域指定等に向けた基礎調査

〈問い合わせ先〉

- 県土マネジメント部 砂防・災害対策課
①~⑤⑨⑩ 松山課長補佐(内線4192)、
⑥⑦ 尾本課長補佐(内線4191)
水循環・森林・景観環境部
⑧ 森と人の共生推進課 西課長補佐(内線3942)、
森林資源生産課 福岡課長補佐(内線3971)
地域デザイン推進局 ⑪ 建築安全推進課 内田課長補佐(内線4414)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり (24) 日本一災害に強い奈良県を目指す対策

R5 予算案 41,775,458千円
債務負担行為 15,371,350千円
R4・2月補正予算案 9,404,730千円

ここまで良くなりました

令和元年に「奈良県緊急防災大綱」を策定し、防災・減災対策を行ってきました。

- 全ての防災重点ため池でハザードマップの作成を完了し、市町村の防災対策に活用
- 直近の自然災害の課題等を踏まえ、R5年2月に「奈良県地域防災計画」を修正
既存の4箇所の広域防災拠点に加え、新たに5箇所を追加指定

現行	県営競輪場(県)、第二浄化センター(県)、消防学校(県)、吉野川浄化センター(県)
追加	大規模広域防災拠点(県)、奈良市都都生スポーツセンター(奈良市)、宇陀市総合体育館(宇陀市)、鼻の郷(十津川村)、下北山スポーツ公園(下北山村)

市町村等が行う避難対策に対する支援を行ってきました。

- 市町村の避難所運営マニュアル策定等への支援や「女性視点の防災ハンドブック」を作成、配付
- 37市町村で社会福祉協議会と災害ボランティアセンター設置にかかる協定を締結、災害ボランティアセンター運営マニュアルも36市町村が策定
- 自主防災組織の実施する防災訓練の支援や自主防災活動に関するアドバイザーを派遣



アドバイザーによる訓練指導

もっと良くするために

令和2年度に策定した「第2期奈良県国土強靱化地域計画」に基づき、防災・減災、国土強靱化の取組を進めます。

- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」や「緊急防災推進事業債」等を有効に活用した計画的・重点的な防災対策



道路路面の修繕作業 河川の浸透を抑制する堤防工事

いざという時の避難行動に万全を期します。

- 市町村と連携し、命を守るための正しい避難行動の周知啓発などの取組を継続的に実施
- 災害ボランティア活動の取組を強化
- 自主防災組織の防災訓練の支援やアドバイザーの派遣を継続して実施
- 市町村が行う避難行動要支援者の個別避難計画作成等への支援
- 備蓄物資の県内各地への分散化

他地域での被災地支援も積極的に行います。

- 自然災害が発生した際、情報収集や避難所運営業務等を支援するため、被災地へ職員派遣

消防防災ヘリコプターを更新します。

- 機体の老朽化に対応し、より安全で効果的な救助活動等を実施

令和5年度予算案 41,775百万円
[債務負担行為 15,371百万円]
令和4年度2月補正予算案 9,405百万円



令和4年度 総合防災訓練

1. 計画的・重点的な防災対策 (41,750,379千円、債務負担行為 11,695,350千円、R4.2月補正予算案 9,404,730千円)

- ① 大規模広域防災拠点の整備、整備段階に応じた運用
- ② 安全・安心を支える道路のネットワーク整備、道路施設の老朽化対策 等
- ③ 奈良県平成緊急内水対策等の流域治水対策
- ④ 土石流等による被害から人家、交通ネットワーク等を保全する砂防施設整備
- ⑤ 防災上対策が必要なため池等の機能診断調査・改修
- ⑥ 「奈良県文化財防火対策推進条例」等に基づく総合的な文化財の防災・防火対策



大規模広域防災拠点



道路施設の老朽化対策



地下貯留施設[イメージ図] (大和高田市)

2. 災害対応力の向上 (11,537千円、債務負担行為 3,676,000千円)

- ⑦ 消防防災ヘリコプター更新
- ⑧ (新) 全庁災害対応訓練
・奈良県トップセミナー
- ⑨ 防災総合訓練
- ⑩ 林野火災消火訓練



消防防災ヘリ「やまと2000」



防災総合訓練

3. 避難活動の円滑化 (13,542千円)

- ⑪ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練
- ⑫ 毛布などの災害用物資を分散備蓄
- ⑬ 自主防災組織の防災訓練の支援
- ⑭ 市町村が行う避難行動要支援者の個別避難計画作成等への支援



災害ボランティアセンター設置・運営訓練

<問い合わせ先>

- 県土マネジメント部 ①大規模広域防災拠点整備課 田淵課長補佐(内線4281)
②道路建設課 大西主幹(内線4146)、道路保全課 辻井主幹(内線4152)
③河川整備課 吉田主幹(内線4171)、④砂防・災害対策課 松山課長補佐(内線4192)
- 食と農の振興部 ⑤農村振興課 小川課長補佐(内線3911)
- 文化・教育・くらし創造部 ⑥文化財保存課 守屋課長補佐(内線5332)、⑪青少年・社会活動推進課 永岡主幹(内線3313)
- 知事公室 ①防災統括室 藤村室長補佐(内線2246)、⑦消防救急課 杉野課長補佐(内線2273)
⑧⑨⑩⑫防災統括室 小原室長補佐(内線2285)、⑬安全・安心まちづくり推進課 山地課長補佐(内線2128)
- 福祉医療部 ⑭地域福祉課 浅山課長補佐(内線2812)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (25) なら四季彩の庭づくりの推進

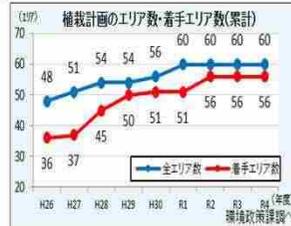
R5 予算案 1,230,923千円

ここまで良くなりました

奈良県植栽計画(平成25年度策定)による取組を、「なら四季彩の庭」づくりの理念に沿って推進してきた結果、策定時から登録エリア数・着手エリア数ともに増加しています。

「なら四季彩の庭」作庭方針

- ・県全体で調和のとれた「一つの庭」づくり
- ・地域の景観資産を生かした庭づくり
- ・四季折々の彩りの庭づくり
- ・人が楽しむ庭づくり
- ・連携・協働による持続的な庭づくり



登録、着手エリアが増加してきた結果、美しい植栽景観を楽しめる箇所も増えています。



もっと良くするために

奈良県を「一つの庭」と見立てた、四季折々の彩りを楽しむ庭づくりに取り組みます。

場所類型に沿った庭づくりを検討し、「なら四季彩の庭」づくりを推進します。

「なら四季彩の庭」づくりを全県的な運動として普及・啓発します。

- 条理化の検討(課題整理等)
- 場所類型別エリア事業の計画策定、実施体制の構築・運営(協働モデルの創出等)

- プレート設置・ジャーナル
- 協定締結団体や地元活動団体の拡充活動支援
- 発刊・SNS等による広報



場所類型	主な推進方策
森林・山岳	眺望景観の確保、視点構・散策道整備、環境保全
里山・田園	耕作放棄地・竹林等の適正管理、散策道整備
歴史文化遺産	場の歴史を反映する四季の彩り、視点場の整備
水辺	親水空間の創出、水辺の彩り、環境保全
まち	街路樹・花壇・サイン等の整備、駅周辺等の彩り
人が集う場所	四季の彩り(花の群植)、アメニティー施設の整備

引き続き、エリア責任課長(庭師)による庭づくりを推進します。

令和5年度予算案 1,231百万円

1. エリア責任課長(庭師)による事業推進(1,199,638千円)

- ①(河川) 河川沿いにおける植栽整備・除草
- ②(道路) 大宮通りにおける植栽整備
主要道路沿道等での植栽整備
- ③(公園) 馬見丘陵公園におけるチューリップ等による
パノラマ景観の創出、花と親しむイベントの開催
奈良公園の植栽、ナラ枯れ対策等
- ④(施設) 野外活動センターにおける植栽整備、歴史的風土の保存、
新なら歴史芸術文化村における植栽整備



大宮通りの植栽



馬見丘陵公園の植栽

2. 市町村・地元活動団体等への支援(24,575千円)

- ⑤市町村・地元活動団体等へ
「なら四季彩の庭」づくりアドバイザーを派遣
- ⑥市町村が行う植栽整備を支援
- ⑦河川や道路等において地元活動団体等が行う
植栽・除草・清掃活動を支援



竹内街道(葛城市)

3. 普及啓発・意識醸成(5,874千円)

- ⑧シンボルマークを使用したプレート設置、ジャーナル発刊、公式Instagramの運営等
- ⑨「なら四季彩の庭」づくりパートナー推進員制度等の運営
- ⑩協定締結団体や地元活動団体に対し花苗等を配布



公式Instagram

4. 庭づくりの検討(836千円)

- ⑪「森林・山岳」、「水辺」など場所類型別の事業計画の検討、
実施体制の構築・運営



森林・山岳
(イメージ)



人が集う場
(イメージ)

<問い合わせ先>
水循環・森林・景観環境部 環境政策課 向井課長補佐(内線3372)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (26) 馬見丘陵公園を誇らしい花の公園に整備

R5 予算案 223,630千円
債務負担行為 9,400千円

ここまで良くなりました

馬見丘陵公園では、季節ごとに花をテーマにしたイベントを開催するとともに、来園者に園内を快適に利用いただけるよう休憩施設の整備を進めています。また、公園を広く知っていただけるよう様々な媒体での情報発信に取り組んでいます。

○やまと花ごよみイベントを開催

チューリップフェア (4月)	花菖蒲まつり (6月)	ひまわりウィーク (7~8月)	フラワーフェスタ (10月)	クリスマスウィーク (12月)
----------------	-------------	-----------------	----------------	-----------------

○休憩所を整備

○情報発信

馬見丘陵公園来園者数 (千名)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
来園者数	926	1,017	1,016	1,021	975	1,112	1,115	1,083

もっと良くするために

来園者により楽しんでいただけるよう、**景観・フォトスポット**を各エリアに整備します。



楽しく移動できる空間の充実を図ります。 ゆっくり滞在できる空間の充実を図ります。

○園内の移動を支援 ○池部駅から北エリアまでの区間に「花街道」を創出 ○馬見丘陵公園館の内装改修を検討

電動カート 花街道

季節ごとのイベントを実施します。

○引き続き、やまと花ごよみイベントを開催

令和5年度予算案 224百万円 [債務負担行為 9百万円]

「花街道」の様子

花街道

電動カート運行ルート

電動カート

休憩所整備

3. 園内の整備・植栽等 (108,802千円)

③休憩所の整備 ④園路・広場の改修 ⑤季節の花々の充実 等

4. やまと花ごよみイベント (27,065千円、R6債務負担行為 9,400千円)

- ⑥チューリップフェア(4月)
- ⑦花菖蒲まつり(6月)
- ⑧ひまわりウィーク(7・8月)
- ⑨フラワーフェスタ(10月)
- ⑩クリスマスウィーク(12月)
- ⑪イベント期間中の路線バス増便

チューリップフェア フラワーフェスタ クリスマスウィーク

〈問い合わせ先〉
地域デザイン推進局 公園緑地課 常盤課長補佐(内線4307)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (27) きれいな川づくり

R5 予算案 2,841,697千円
債務負担行為 140,000千円

ここまで良くなってきました

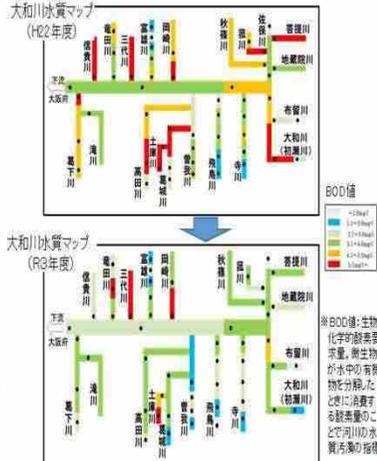
○きれいな川辺づくり、遊歩環境の改善

川は開放的な空間であるとともに、豊かな景観を構成する要素であることから、景観の維持・向上とともに、水辺に親しめる親水空間の整備が求められています。

○大和川とその支川のきれい化

市町村と連携し、地域住民等の主体的な参加・協力を得ながら、大和川の水質改善、きれいな水辺空間づくりを進めてきました。

大和川の水質は、下水道の整備等により改善傾向(BOD値 4.7mg/L→2.5mg/L)にあるものの、他府県の河川に比べて低位



もっと良くするために

水質のきれい化、川辺のきれい化に向け、「(仮称)大和川流域におけるきれいな川づくり会議」を開催し、情報共有や地域活動の一層の活性化を図ります。

きれいな川辺づくり、遊歩環境の改善

○水辺に親しめる親水空間の整備や適切な維持管理を推進

- 【主な取組】
- ・水辺の遊歩道整備
- ・親水施設や花壇等整備
- ・適切な維持管理



遊歩道整備

川のゴミを削減し、きれい化

○地域の人々と協働した情報発信や活動、河川美化のための施策をさらに推進

- 【主な取組】
- ・定期的な巡視活動や啓発看板設置
- ・プラスチックごみ美観の周知・啓発、事業者へ指導・広報
- ・大和川一斉清掃等のイベント



マナーアップキャンペーン

大和川とその支川の水のきれい化

○地域の人々と協働した情報発信や実践活動の促進

○水質向上、家庭・事業者の啓発を推進

- 【主な取組】
- ・実践活動団体のネットワーク化促進
- ・水質改善のための普及啓発・実践活動促進
- ・導水水量確保による河川環境改善
- ・花の植栽活動、除草、清掃等の活動支援
- ・合併処理浄化槽設置補助する市町村助成
- ・下水道接続促進員による戸別訪問実施の市町村支援



奈良県スタイルジャーナル (年4回発行)



彩り花つみプログラム

令和5年度予算案 2,842百万円
【債務負担行為 140百万円】

1. きれいな川辺づくり、遊歩環境の改善・維持 (2,751,250千円、R6債務負担行為 140,000千円)

- ①水辺の遊歩道整備 (大和川、岩井川)
- ②奈良の河川彩りづくり (富雄川)
- ③護岸等修繕、除草、堆積土砂撤去



水辺の遊歩道整備 (竜田川)



河川彩りづくりの推進 (富雄川・生駒市)

2. 大和川の水のきれい化 (67,262千円)

- ④大和川の水質改善
 - ・地域団体等と連携・協働した普及啓発・実践活動
 - ・チラシ配布、PR看板設置、油拭き取り材利用
 - ・導水水量を確保し河川環境を改善
- ⑤合併処理浄化槽設置者への補助事業を実施する市町村への支援
- ⑥下水道接続促進員による戸別訪問を実施する市町村への支援
- ⑦きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナルの発行 (年4回)
- ⑧地元自治会等が行う花の植栽活動や除草、清掃等の活動を支援



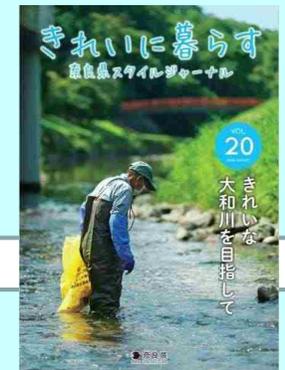
花の植栽活動



河川清掃活動の様子



普及啓発用チラシ



きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル

3. 川のゴミ削減、きれい化 (23,185千円)

- ⑨河川敷地における不法占用・不法投棄対策、大和川一斉清掃イベント
- ⑩プラスチックごみの実態の周知・啓発、事業者への指導・広報

〈問い合わせ先〉

県土マネジメント部
水循環・森林・景観環境部

- ①②③④⑨河川整備課 甲賀課長補佐(内線4173)、⑥下水道課 秋山課長補佐(内線4332)
- ④⑤⑧⑩水資源政策課 中川課長補佐(内線2543)、⑦環境政策課 向井課長補佐(内線3372)、
- ⑩廃棄物対策課 原課長補佐(内線3381)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (28) 道路の無電柱化

R5 予算案 418,945千円
債務負担行為 220,000千円
R4・2月補正予算案 420,000千円

ここまで良くなりました

「奈良県無電柱化推進計画」に基づき、地震等の災害時の交通確保、まちづくり、良好な景観形成や観光振興等の観点から無電柱化を進めています。

- 計画に基づき、約19kmの電線共同溝事業に着手
- これまで約6.3kmで工事に着手し、そのうち約3.5kmが完了

【電線共同溝工事が完了した箇所】
(都) 畷傍駅前通り線(橿原市)

【電線類地中化の事例】
橿原市宮家口停車場飛鳥線(明日香村)



もっと良くなるために

引き続き、無電柱化を強力に進めます。

防災

○ 緊急輸送道路や避難所へのアクセス道、避難路等災害の被害の拡大の防止を図るために必要な道路の無電柱化を推進

- 国道168号(王寺町、香芝市)
- 国道308号(奈良市・四条大路付近)
- (都) 西九条佐保線(奈良市)
- (都) 大安寺柏木線(奈良市)
- (都) 奈良橿原線(奈良市・JR奈良駅前)

県と市町村とのまちづくり

○ 各地区におけるまちづくりを進める上で、必要な取組として無電柱化を推進

- 三輪山線(桜井市・大神神社参道周辺)
- (都) 畷傍駅前通り線(橿原市・JR畷傍駅付近)
- (都) 城廻り線(大和郡山市)



三輪山線整備前

○ 新たに約14kmの電線共同溝事業に着手

- 国道168号(生駒市)
- 中和幹線(香芝市)
- 大和郡山丘陵線、大和郡山環状線(大和郡山市)



(都) 奈良橿原線整備前

整備後
今後、電線類を地中化・抜柱予定



整備後イメージ

令和5年度予算案 419百万円 [債務負担行為220百万円]
令和4年度2月補正予算案 420百万円

「奈良県無電柱化推進計画」に基づく道路の無電柱化

(1) 奈良橿原線 (81,900千円)

JR奈良駅前(奈良市)
舗装工事等



奈良橿原線 JR奈良駅前

(2) 三輪山線

(214,200千円、R6債務負担行為 150,000千円、R4・2月補正 210,000千円)

大神神社参道周辺地区(桜井市)
設計、電線共同溝工事、舗装工事



三輪山線 大神神社参道周辺地区

(3) 畷傍駅前通り線

(101,845千円、R6債務負担行為 70,000千円、R4・2月補正 210,000千円)

JR畷傍駅付近(橿原市)
用地買収、電線共同溝工事等



畷傍駅前通り線

(4) 国道308号 (21,000千円)

四条大路付近(奈良市)
調査、設計

※その他、道路改築と併せて無電柱化

国道168号(王寺町)、国道168号(香芝市)、
西九条佐保線(奈良市)、大安寺柏木線(奈良市)、城廻り線(大和郡山市)

〈問い合わせ先〉

県土マネジメント部 道路建設課

松田主幹(内線4141)、大西主幹(内線4146)、松田課長補佐(内線4131)

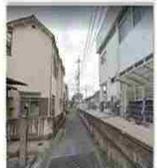
Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 8 暮らしやすいまちづくり

(29) 土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用の実現

R5 予算案 32,294千円

ここまで良くなりました

都市・農村・森林が共生できる「新たな土地の管理と利用の仕組み」の構築に向けて、奈良県の今後の土地の管理と利用のあり方とその方向性について検討を進め、**新たな土地の管理と利用の仕組みの基本的な考え方を整理しました。**

<p>〇県内で発生している諸課題</p>  <p>住宅と工場の混在</p>  <p>店等のない住宅地</p>	<p>〇目指すべき姿</p> <p>「適正な管理」 周辺住民の生命、身体、財産への危害の発生や、周辺地域の生活環境等への悪影響の発生を防止</p> <p>「合理的な利用」 地域の価値の維持・向上、地域経済の持続的な発展、県民が安心して快適に暮らすことができる地域社会の実現に資するよう、地域の諸条件に応じて、土地の効用を持続的に発揮</p>
 <p>耕作放棄地</p>  <p>廃棄物置き場</p>	<p>「より効果的な利用」 土地のより高い効用の発揮が見込まれる場合に、若者の雇用やにぎわいの創出等を通じて地域の持続的な発展を実現するため、土地所有者や近隣住民等の協力の下、土地の効用を更に発揮</p>

もっと良くするために

土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用の実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため、**令和5年3月に「土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用により地域経済の発展及び生活の向上を図る条例」を制定します。**

<p>〇奈良県版土地白書などによる、土地の管理と利用の状況等の情報発信</p> <p>〇人材育成のための講習会の実施</p> <p>〇相談窓口の設置など、行政と関係機関等が連携して地域を支援する仕組みの構築</p> <p>〇審議会等による土地に関する施策の検証</p> <p>〇地域の実情に応じた都市計画の見直しの実施</p>	<p>〇地域の関係者との議論により、土地の管理と利用に関する計画を策定・実行するボトムアップ型の取組の推進</p>
---	---



条例の制定により取組を加速

土地の適正な管理、合理的な利用、より効果的な利用の実現



令和5年度予算案 32百万円

令和5年3月「土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用により地域経済の発展及び生活の向上を図る条例」制定予定

1. ① 土地の管理と利用 (26,000千円)

(1) 土地の適正な管理と合理的な利用等にかかる情報発信 (8,400千円)

- ① ジャーナルの発行
- ② 各種広報媒体による情報発信 等



市町村向けセミナーイメージ

(2) 人材育成 (4,000千円)

- ③ 市町村向けセミナー 等

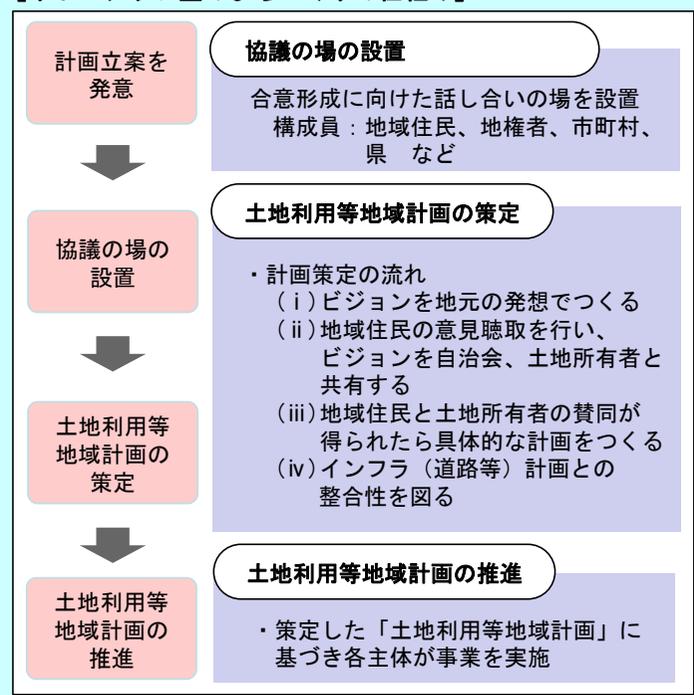
(3) 土地に関する相談体制の整備 (400千円)

- ④ 市町村等と連携して相談窓口を設置・運営
- ⑤ 市町村、関係機関等と協力して、土地所有者等に支援を行う体制を整備 等

(4) ボトムアップ型のまちづくりの推進 (13,200千円)

- ⑥ 地域関係者の参画により土地利用等地域計画を策定・実行する仕組みを構築
- ⑦ 地域が協力して土地利用等を行う取組を拡大するため、先導的事例を創出
- ⑧ 市町村によるボトムアップ型のまちづくりへの支援

【ボトムアップ型のまちづくりの仕組み】



2. 都市計画区域の見直し (6,294千円)

(1) 市街化区域と市街化調整区域との区分の見直し

- ⑨ 区域区分案を作成し、国等と協議

(2) 吉野三町のまちづくりビジョン策定支援

- ⑩ 吉野町三町（吉野町、大淀町、下市町）まちづくり検討会の開催

【事業スケジュール】

R 4	〇「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」改定
R 5	〇区域区分見直し（都市計画決定） 〇吉野三町まちづくりビジョン策定支援

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 8 暮らしやすいまちづくり (30) 奈良県のすまい方改善

R5 予算案 994,096千円
債務負担行為 104,600千円

ここまで良くなってきました

奈良県のすまいに係る課題は、①住民の高齢化、②住宅地での空き家・空き地の増加、③住宅の老朽化です。新型コロナウイルスに起因する離職・収入減などの環境変化も踏まえ、奈良県住生活基本計画・奈良県住生活ビジョン等に基づき、奈良県のすまい方改善を実施してきました。

○近鉄大福駅周辺地区において、地域のまちづくりに合わせて県営住宅を建替

○高齢者世帯やひとり親世帯などの住宅の確保に配慮を要する方が、賃貸住宅等に円滑に入居し、安心して住まうことができるよう居住支援の取組を推進



桜井県営住宅第1期



○新型コロナウイルスに起因する離職等に県営住宅を提供等
○R4年2月に奈良県住生活基本計画を改定

もっと良くするために

近鉄大福駅周辺地区において、桜井団地建替事業(第2期)と合わせて桜井市と連携したまちづくりを進めます。また、老朽化した県営住宅の環境改善を実施します。

住まい・暮らしのあり方に関する条例の制定や「奈良県住生活ビジョン」の改定を行います。また、地域課題の整理・見える化や空き家の活用等を通じ、地域の暮らしの課題の把握及びその解消を進めます。

○県営住宅の建替による近鉄大福駅周辺地区の拠点整備

○各モデル地区において、地域課題の調査整理、空き家の適正な管理・流通の促進・活用を通じ、まちのリニューアルを推進



桜井団地建替事業全体配置イメージ図

○県営住宅の大規模改修による居住環境及び安全性の向上



空家活用イメージ

令和5年度予算案 994百万円 [債務負担行為105百万円]

1 県営住宅の整備等 (138,600千円)

桜井市とのまちづくり包括協定を踏まえ、市と協働して桜井県営住宅用地を活用したまちづくり

R5: 第2期事業区域の造成工事・建築工事



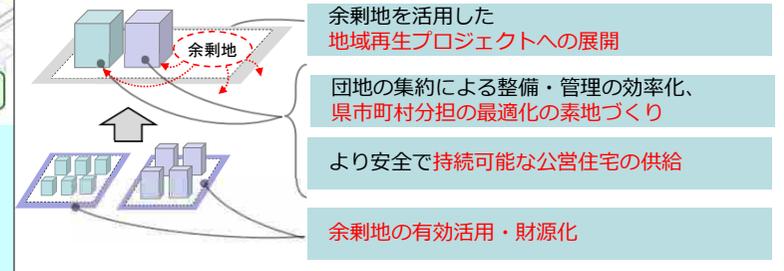
桜井県営住宅配置イメージ



桜井県営住宅第2期イメージ

県と市町村の連携による公営住宅建替モデル事業の検討

県と市町村の連携による建替



2 県営住宅の老朽化対策(ストック総合改善) (855,496千円、R6債務負担行為 104,600千円)

安全・安心な住まいの確保及び必要な機能の維持

- ・耐震改修
- ・大規模修繕 (屋上防水改修、外壁改修 等)
- ・設備改修 等 (エレベーター改修、給水設備改修 等)



〈問い合わせ先〉

地域デザイン推進局 住まいまちづくり課 山中課長補佐(内線4373)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 8 暮らしやすいまちづくり

(31) 県内の交通サービスの確保と利便向上

R5 予算案 282,584千円
R4・2月補正予算案 70,000千円

ここまで良くなりました

「奈良県公共交通基本計画」を令和4年3月に改定し、県民・来訪者の移動ニーズを支える県内公共交通とその拠点の実現を図る取組を進めています。また、鉄道駅等のバリアフリー化や、市町村によるコミュニティバス・デマンド交通の導入等の取組を支援してきました。

○地域の関係者による公共交通サービスの見直し・改善や、市町村における計画策定・実証運行等への支援を実施

○駅の段差解消率（目標：R7年度までに100%）
・利用者数3千人/日以上の駅

○ノンストップバス導入率（目標：R7年度までに80%）

平成23年度 解消率:65.2%	令和3年度 解消率:81.3%
平成26年度 導入率:68.1%	令和3年度 導入率:73.6%

※R4年度より利用者2千人/日以上3千人未満でバリアフリー基本構想の生活関連施設に位置付かれた鉄道駅についても整備目標を追加

明日香村 デマンド交通の導入

大宇陀南部ボランティア有償バス (宇陀市)

もっと良くするために

地域がより主体的に県内公共交通の維持・充実に参画する多様な取組を推進します。また、公共交通に関わる空間の質向上のため、鉄道駅のバリアフリー化等の一層の推進を図ります。

○「エリア公共交通検討会議」にて、公共交通全体の維持・充実について協議

○鉄道駅のバリアフリー化の一層の推進

○ノンストップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入を支援

○鉄道駅等を住民の交流の場や観光案内所として活用する取組を支援

○自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの提供に向けた取組を支援

○クロスセクターの算出ツール作成

○住民等の移動ニーズにきめ細かく対応する交通サービスの提供に向けた取組を支援

地域の関係者が参画する「エリア公共交通検討会議」

公共交通が観光・福祉など関係分野にもたらす効果

算出ツール作成

令和5年度予算案 283百万円
令和4年度2月補正予算案 70百万円

エレベーター設置(坊城駅) 多機能トイレ(前橋駅)

路線バスに導入済ノンストップバス(宇陀市) 車椅子での乗降に備えた100%バリアフリー化(宇陀市)

○鉄道駅等を住民の交流の場や観光案内所として活用する取組を支援

○自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの提供に向けた取組を支援

自動運転車両の実証実験(三郷町)

1. 県内公共交通の維持・充実にに向けた取組の強化 (16,400千円)

- ①地域の多様な関係者が参画し、運営の改善や利用促進に向け検討
- ②クロスセクター効果（公共交通が観光・福祉など関係分野にもたらす効果）の奈良県版算出ツールの作成



エリア公共交通検討会議

2. 公共交通のバリアフリー化の一層の推進 (203,184千円)

- ③鉄道駅におけるエレベーターやスロープ等の整備支援
JR香芝駅、近鉄平城駅、(新)近鉄耳成・一分・五位堂駅
- ④ノンストップバスやユニバーサルデザインタクシー車両の導入支援



ノンストップバス

3. 地域の移動ニーズに対応する複合的な交通サービスへの支援 (63,000千円)

- ⑤地域公共交通計画等にかかる調査検討支援
- ⑥地域の特性・移動ニーズに応じた新たな公共交通の実証運行支援や、鉄道駅等の活用支援



地元住民が中心となり検討を進めたコミュニティバス「たけまる号」(生駒市)



駅舎を活用したセミナー (JR御所駅)



駅舎を活用しオープンしたまちかど案内所

4. 自動運転の実現やMaaSの導入 (R4・2月補正 70,000千円)

- ⑦自動運転やMaaS※の導入を想定した交通サービスの実証実験等
実証実験候補地（五條市、宇陀市、三郷町、田原本町、明日香村）



自動運転車両の実証実験

※Mobility as a Service

出発地から目的地まで複数の交通モードの経路検索・予約・決済を一体として提供するサービス

〈問い合わせ先〉

- ①～⑥ 県土マネジメント部 リニア推進・地域交通対策課 津田課長補佐(内線4164)
- ⑦ 県土マネジメント部 まちづくりプロジェクト推進課 大島課長補佐(内線4272)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 8 暮らしやすいまちづくり (32) 自治会等との連携協力強化

R5 予算案 13,036千円

ここまで良くなりました

自治会の活動は、地域の安全・安心・防災・健康増進等にとって有意義で大事なものです。一方、住民の地域とのつながりの希薄化、担い手不足、高齢化等が自治会の課題となってきました。奈良県は、奈良県自治連合会との連携など取組を強化してきました。

OR元年度に県に自治会連携担当職を置き、自治会や市町村との情報共有、県政情報の提供等を実施

〇県自治連合会への加盟を働きかけ、R元年度以降、奈良市、天理市、宇陀市、広陵町が順次加入し、21市町村が参加

〇自治会支援のあり方について、市町村や自治会等と共に検討する「自治会・地域コミュニティ政策研究会」を実施

〇自治会の重要性や優良事例を共有する「奈良県自治会ジャーナル」を発行

OR3年度はコロナ禍の下、地域の防災訓練の支援(2市町村)、安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣(2回)を実施



もっと良くするために

自治会の地域における重要な役割に鑑み、県と自治会との連携協力を充実するとともに、新たに自治会等の連携を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。

〇自治会等と他の地域団体との連携による取組を促す「自治会等連携補助金」を創設
〇地域自治協議会の設立を支援するモデル事業を新たに実施



金和5年度予算案 13百万円

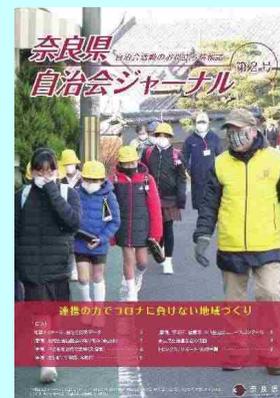
1. 自治会連携の推進 (10,004千円)

(1) 自治会の活性化を推進 (2,304千円)

- ①「奈良県自治会ジャーナル」の発行等
- ②自治会等の活動・連携促進に関する「自治会・地域コミュニティ政策研究会」の開催等

(2) 自治会の活動を支援 (7,700千円)

- ③ **新** 自治会連携への支援
自治会等と他の地域団体が連携し、地域課題の解決に取り組む事業に対し補助
- ④ **新** 自治会連携支援モデル構築
自治会等と他の地域団体が連携し、地域課題の解決に取り組む「地域自治協議会」等の設立を支援



2. 住民自治振興支援 (600千円)

- ⑤ **県自治連合会への支援**
研修や自治会活動事例収集活動等に対し補助



県自治連合会と知事との懇談会

3. 安全・安心まちづくりの推進 (2,432千円)

- ⑥地域の自主防犯・防災リーダー向け研修
- ⑦住民参加型の自主防災訓練への支援
- ⑧奈良県安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣



自主防犯・防災リーダー研修

<問い合わせ先>

- ①～④知事公室 政策推進課 藤本参事(内線2102) ⑤知事公室 市町村振興課 中野課長補佐(内線2265)
- ⑥～⑦知事公室 安全・安心まちづくり推進課 山地課長補佐(内線2128)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 9 地域で子どもを健やかに育てる (33) 子育てと仕事を普通に両立できる社会の実現

R5 予算案 615,433千円
R4・2月補正予算案 919,000千円

令和4年3月「奈良っ子はぐくみ条例」制定

1. 多様な主体による子育て支援環境の整備 (300,641千円、R4・2月補正予算案 900,000千円)

(1)「なら子育て応援団」奈良っ子はぐくみキャンペーン
(300,000千円)

- ①「なら子育て応援 はぐくみストア」開設
- ②「なら子育て応援団」登録世帯向けの電子クーポン発行
- ③ **新**育休を取得した父親に優待パスポート「パパス」発行

(2) 出産・子育て応援交付金
(R4・2月補正予算案 900,000千円)

- ④ 出産育児関連用品の購入や、子育て支援サービスの利用負担を軽減
- ・妊娠時・出産時に計10万円相当を支援

(3) 子育て世代包括支援センター支援事業
(641千円)



なら子育て応援団ロゴ

2. ひとり親家庭等への就労・子育て支援の充実 (173,008千円)

(1) **新**子育て支援システム「(仮称)奈良っ子はぐくみセーフティネット」の構築 (150,000千円)

- ⑤ ひとり親家庭を含む子育て家庭の困りごと等に応じて、支援情報をプッシュ型で提供するシステムを構築

(2) 県母子家庭等就業・自立支援センター
(スマイルセンター) の運営 (23,008千円)



スマイルセンターロゴ



子育て支援システム
利用イメージ

3. 安心・安全な子ども食堂の普及 (20,600千円)

(1)「子ども食堂」奈良っ子はぐくみキャンペーン事業
(15,000千円)

(2) 子ども食堂コーディネーターによる支援の強化
(4,500千円)

(3) 安心・安全子ども食堂認証制度 (1,100千円)



子ども食堂の様子



安心・安全子ども食堂認証

4. 放課後児童クラブの施設・運営の充実 (121,184千円、R4・2月補正予算案 19,000千円)

(1) 放課後児童クラブ施設整備の支援
(107,877千円、R4・2月補正予算案 19,000千円)

(2) 指導員確保の支援 (13,000千円)

- ⑥ 保育士と指導員を対象に求人求職のマッチング

(3) 指導員資質向上(専門性向上)の支援 (307千円)



放課後児童クラブの様子(外遊び)



放課後児童クラブの様子(生物観察)

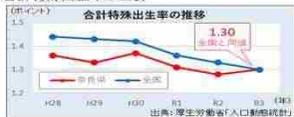
〈問い合わせ先〉

- 1(1)(2)、2(1) 子ども・女性局 女性活躍推進課 曾田課長補佐(内線3351) 1(3) 医療政策局 健康推進課 信野主幹(内線3142)
- 2(2)、3 子ども・女性局 子ども家庭課 度會課長補佐(内線2871) 4 子ども・女性局 奈良っ子はぐくみ課 木戸脇課長補佐(内線2885)

ここまで良くなってきました

安心して子育てできる「家庭」と「地域」をつくり、夫婦が一体感を持って子育てできる環境整備が進んでいます。

- 地域子育て支援拠点設置箇所数 73箇所(R3年度)→75箇所(R4年6月)
- 合計特殊出生率が上昇



ひとり親家庭等の暮らしの安定のため、就労による自立や子育て・生活を支援しています。

- 県母子家庭等就業・自立支援センター(スマイルセンター)によるひとり親の就業支援



県内全ての小学校区に「こども食堂」の設置を目指して取り組み、設置数が着実に増加しています。

- R4年11月には、114団体がこども食堂を設置(県内189小学校区中、80校区で設置)



空き教室等を利用し、保護者が昼間家庭にいない子どもたち(放課後児童)に遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブ(学童保育)を拡充してきました。

- 施設整備補助による施設数 H27.5⇒R4.5:400クラブ(+124クラブ)
- 受入児童数 H27.5⇒R4.5:16,504人(+4,064人)
- 放課後児童支援員数 H27.5⇒R4.5:1,968人(+745人)



児童虐待の早期発見・未然防止につながる子どもの預かり事業等を行う市町村が増加しています。

- ショートステイ、一時預かり事業の実施市町村数 H27:26市町村⇒R3:39市町村(+7市町村)
- オレンジリボンキャンペーンの実施市町村数 H27:31市町村⇒R3:39市町村(全市町村)

- 子ども家庭総合支援拠点設置市町村数 R2:11市町村⇒R4.11:36市町村(+25市町村)
- 県児童相談所の児童虐待相談対応件数 R2:1,761件⇒R3:1,837件(+4.3%)
- 市町村の児童虐待相談対応件数 R2:3,130件⇒R3:3,045件(▲2.7%)

- 児童虐待防止に関する県・市町村の体制・対応力強化が進んでいます。

- 子ども家庭総合支援拠点設置市町村数 R2:11市町村⇒R4.11:36市町村(+25市町村)

もっと良くするために

令和4年3月に制定した「奈良っ子はぐくみ条例」に基づき、ひとり親家庭を含むすべての子育て家庭が自立・安定した生活の中で、安心して子どもをはぐくむことができるよう、社会全体で子育てを支援する取組を進めます。

多様な主体による子育て支援環境の整備

- 「なら子育て応援団」奈良っ子はぐくみキャンペーン事業

ひとり親家庭等への就労や子育てへの支援

- ひとり親家庭を含む子育て家庭の困りごと等に応じて、支援情報をプッシュ型で提供する子育て支援システム「(仮称)奈良っ子はぐくみセーフティネット」を構築

「ひとり親コンシェルジュ」の設置

安心・安全な子ども食堂の普及

- 子ども食堂の参加者の利用料を無料にするため要した経費を補助し、子どもはぐくみ活動を支援する「こども食堂」奈良っ子はぐくみキャンペーン事業

県子ども食堂コーディネーターによる子ども食堂への支援の強化



市町村等と連携した子ども家庭への支援

- 支援者を対象とした研修会の開催
- 市町村における母子保健と児童福祉の一元的なマネジメント体制構築の支援

妊娠期間からの切れ目のない子育て支援

- 妊娠届出や出産届出を行った妊婦等へ子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援

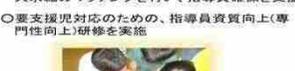
親子の交流を図る地域子育て支援拠点や、児童の預かり等を行うファミリーサポートセンターの運営等に対し市町村を支援

男女がともに支え合う家庭生活の実現



放課後児童クラブの施設・運営の充実

- 放課後児童クラブ施設整備の支援
- 保育人材バンクで保育士と指導員を対象に求人求職のマッチングを行い、指導員確保を支援
- 県支援児対応のための、指導員資質向上(専門性向上)研修を実施



児童虐待の早期発見・未然防止

- オレンジリボンキャンペーン等による児童虐待未然防止啓発

社会的養護の充実

- 養子縁組をあっせんする民間団体への支援
- 児童養護施設におけるケア単位の小規模化及びファミリーホーム新設の支援

令和5年度予算案 615百万円
令和4年度2月補正予算案 919百万円

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 9 地域で子どもを健やかに育てる (34) 就学前児童のはぐくみ

R5 予算案 840,530千円
R4・2月補正予算案 18,268千円

ここまで良くなりました

「奈良っ子はぐくみ条例」を制定するとともに、就学前教育に関する「奈良っ子はぐくみ基本方針」を策定し、就学前児童のはぐくみを進めています。

○奈良っ子はぐくみ条例
「子どもの健やかなはぐくみ」「経済的困難を抱える家庭への支援」「困難な状況におかれてい子どもへのセーフティネットづくり」、「子育て家庭のあらゆる困りごとの解決」に関する施策を計画的に推進

○奈良っ子はぐくみ基本方針
就学前教育を推進するためのツール作成、人材育成、多様な場ではぐくみの展開を推進

保育所等の待機児童数が、5年間で3分の1以下に減少しました。



もっと良くするために

令和4年に制定・策定した「奈良っ子はぐくみ条例」、「奈良っ子はぐくみ基本方針」に基づき、就学前児童をはじめとする子どものはぐくみをさらに充実します。

奈良っ子はぐくみ基本方針に基づく「奈良っ子はぐくみプロジェクト」の展開



芸術や自然を活用した子どものはぐくみ



食育、インクルーシブ保育の推進



奈良っ子はぐくみロゴマーク

子どもを安心して預けられる受け皿の確保

○認定こども園や小規模保育事業等の地域の実情に応じた保育施設の整備



保育施設の整備

保育人材の確保・定着支援

- 保育士養成施設学生の修学資金や潜在保育士の就職準備のための資金貸付
- キャリアパスに基づく体系的な研修実施
- 「保育人材バンク」コーディネーターによる保育人材の就職支援
- 保育現場の業務改善マニュアルを活用した働き方改革の実践



保育士の活動風景



保育人材バンク

令和5年度予算案 841百万円 令和4年度2月補正予算案 18百万円

令和4年3月「奈良っ子はぐくみ条例」制定

1. 奈良っ子はぐくみ基本方針に基づく「奈良っ子はぐくみプロジェクト」の展開(154,015千円)

(1) 就学前教育の質の向上・保育人材の育成 (16,093千円)

① 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の実践事例集作成



遊びを通した学びの実践事例の様子

② 市町村のアドバイザー人材の育成

③ (新) 芸術活動を取り入れた就学前の子どものはぐくみの推進
保育者向け実践手引書

(2) 奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度の普及 (4,649千円)

④ 自然保育の推進に向けた支援
(新) 保育者向け実践手引書

(3) インクルーシブ保育の推進 (30,181千円)

⑤ 医療的ケア児を受け入れる保育施設への看護師等の配置を支援

⑥ (新) 障害児保育の充実に向けた専門職による巡回支援

(4) 奈良っ子をはぐくむ食育の推進 (6,500千円)

⑦ (新) 保護者向け食育体験の実践手引書

(5) まほろば健康パークの機能強化 (80,058千円)

(6) なら歴史芸術文化村での幼児向けアート・音楽プログラム (9,534千円)



なら歴史芸術文化村



アートプログラム

(7) 「幼児向け運動・スポーツプログラム」を活用したはぐくみの推進 (7,000千円)

2. 保育の受け皿確保、保育人材の確保・定着支援(686,515千円、R4・2月補正予算案 18,268千円)

(1) 保育施設整備への支援 (666,471千円)

⑧ 新築・大規模修繕への補助



県内保育施設(新築)の事例

(2) 保育士の県内就職の促進 (R4・2月補正予算案 18,268千円)

⑨ 保育士就学資金の貸し付け(貸付原資造成)



保育士の就業



奈良っ子はぐくみロゴマーク

(3) キャリアパス構築支援・保育人材の確保・定着 (20,044千円)

⑩ 保育人材の求人・求職のマッチング
⑪ 保育現場の働き方改革



保育人材バンク



保育士の活動風景

〈問い合わせ先〉

- 1 (1)~(4)、2 こども・女性局 奈良っ子はぐくみ課 木戸脇課長補佐 (内線2885)
- 1 (1) 教育委員会 学ぶ力はぐくみ課 丹下課長補佐 (内線5351) ※就学前教育推進事業に関すること
- 1 (5) 地域デザイン推進局 公園緑地課 鎌田課長補佐 (内線4327)
- 1 (6) 文化・教育・くらし創造部 文化振興課 元根課長補佐 (内線2152)
- 1 (7) 文化・教育・くらし創造部 スポーツ振興課 湯浅課長補佐 (内線5272)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 9 地域で子どもを健やかに育てる (35) 子どもの通学通園路の安全確保

R5 予算案 367,503千円
債務負担行為 42,000千円

ここまで良くなりました

子どもの通学通園路の安全確保のための施策を継続して実施してきました。

過去5年間に県内で発生した子どもの通学通園時の交通事故を分析し、課題を整理して、市町村が対策案を検討する際の助とするために「奈良県通学路等安全対策推進の手引き」を作成しました。

R3年、千葉県八街市での事故を受け、県内通学通園路の総点検を実施
【対策の状況】
R4年3月末:632箇所対策済み
R4年8月末:789箇所対策済み(暫定値)

- 点検結果を踏まえて交通安全施設の整備や交通安全教育を実施
- 市町村長を中心とした組織体制の構築を推進
- 効果的な安全教育の充実

- 【小学生】
・歩行中に交差点での横断中の事故が多い
・低学年(1・2年生)の事故が多い
- 【中・高校生】
・自転車乗車中に交差点での出会い頭の事故が多い

○「交差点対策」をハード・ソフト両面から充実することをこれからの重点課題として決定

「奈良県通学路等安全対策推進会議」を開催しています。
(令和4年11月、令和5年3月)



奈良県通学路等安全対策推進会議

もっと良くなるために

「奈良県通学路等安全対策推進の手引き」の効果的な活用による通学通園路の安全確保に向けた対策の推進に取り組みます。

- 通学路等安全対策推進会議
- 各市町村が実施する合同点検への同行や対策メニュー提案
- 市町村等が行う通学通園路等安全確保のための防犯・交通安全設備等整備支援



市町村通学路等合同点検



奈良県通学路等安全対策推進会議

通学通園路の安全対策として、**安全教育の充実**に取り組みます。

- 交差点の安全横断に重点を置いた交通安全教育
- ICTを活用した効果的な安全教育推進
- 未就学児への交通安全教室
- 小学校低学年への交通安全教育充実
- 中・高校生への自転車乗車中における交通安全教育充実
- 教職員対象の安全教育研修



市町村通学路等安全対策推進会議 教職員を対象とした交通安全教育研修会

通学通園路の安全確保のため**交通安全施設の整備**に取り組みます。

- 合同点検結果を踏まえた防護柵の設置、横断歩道の補修・高輝度化等、交通安全施設の整備・更新の推進

令和5年度予算案 368百万円
[債務負担行為 42百万円]

1. 子どもの通学通園路等の安全確保推進 (1,989千円)

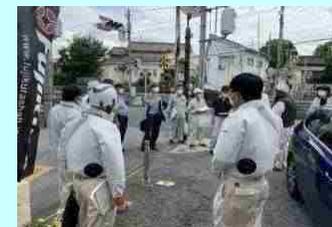
- ①通学路等安全対策推進会議
- ②通学路合同点検の巡回指導
- ③通学通園路等の安全教育
- ④(新)未就学児に対する交通安全教室



通学路等安全対策推進会議



通学通園路等の安全教育の充実



通学路合同点検の巡回指導

2. 交通安全施設の整備 (362,514千円、R6債務負担行為 42,000千円)

- ⑤関係者連携による合同点検に基づく、**危険箇所への交通安全施設の整備**
(防護柵の設置、横断歩道の補修等、歩行者用灯器の増設)



防護柵の設置



横断歩道の補修



歩行者用灯器の増設



防犯カメラの設置

3. 通学通園路等安全確保支援 (3,000千円)

- ⑥通学通園路等の安全確保に必要な**防犯・交通安全設備等整備の支援**



道路ステッカー

〈問い合わせ先〉

- ①②③ 教育委員会 健康・安全教育課 高田課長補佐(内線5312)
- ⑤ 県土マネジメント部 道路保全課 辻井主幹(内線4152)
警察本部 交通企画課 三宅課長補佐(内線5518)
- ④⑥ 知事公室 安全・安心まちづくり推進課 山地課長補佐(内線2128)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 10 女性活躍の推進 (36) 希望がかなうジェンダーフリーな社会の実現

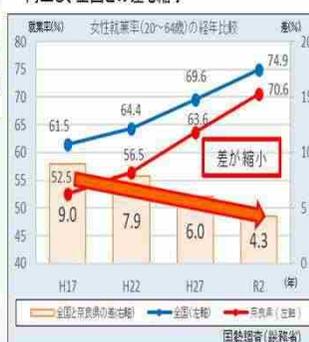
R5 予算案 23,968千円

ここまで良くなりました

県内の企業・団体等に対して、個別に訪問等を行うことにより登録を働きかけた結果、「なら女性活躍推進倶楽部」登録企業数が着実に増加しています。

奈良県女性の就業率の前回と比較した伸び率は全国1位であり、全国との差は着実に縮まっています。

OR2は前回(H27)に比べ女性の就業率が大幅に向上し、全国との差も縮小



【なら女性活躍推進倶楽部】男性も女性も働きがいを感じ、生き生きと働き続けることができる職場づくりを目指し、関係団体とともに様々な取組を実施している県の事業



もっと良くするために

「男女でつくる幸せあふれる奈良県計画」に基づき、ジェンダーにとらわれず、仕事でも、生活でも、自分らしく力を発揮し、幸せを感じられる社会づくりの取組を進めます。

県内企業とともに女性活躍を推進

男性の働き方・暮らし方改革を推進

○なら女性活躍推進倶楽部会員企業の魅力発信

○出張型子育て支援情報発信



○会員企業と女性・若者のマッチング支援

○なら女性活躍推進倶楽部企業向けセミナー

○企業間交流による女性活躍の水平展開

○「パパ産休」の取得を企業と促進

○女性活躍推進に取り組む県内企業に向けたシンポジウム

○男性の育児休暇利用イメージ

女性への暴力防止

女性への様々な就労支援

○奈良県性暴力被害者サポートセンター「NARAハート」の24時間365日対応

○女性デジタル人材育成プロジェクト

○教員及び若年層を対象とした性暴力に関する普及啓発

○働く女性相談窓口(女性センター)

○倶楽部会員企業と連携したパープルリボン啓発活動

○「Leapなら」支援団体と連携した起業セミナー

令和5年度予算案 24百万円

令和3年3月「男女でつくる幸せあふれる奈良県計画」(令和3年度～令和5年度)策定

1. 県内企業とともに進める女性活躍の推進(4,607千円)

(1) 新 県内企業のわくわく推進 (1,000千円)

- ① わくわくワークフェスティバル
- ② 女性活躍取組事例の紹介



＜イメージ＞講演の様子

(2) なら女性活躍推進倶楽部の取組推進(3,607千円)

- ③ 倶楽部会員企業の魅力発信
 - ・ジャーナル発行
 - ・ポータルサイト充実
 - ・各種広報媒体による情報発信



- ④ 会員企業と女性・若者のマッチング
 - ・採用・企業情報紹介ポータルサイト
 - ・再就職応援フェスタ
 - ・大学のキャリア構築講座



再就職応援フェスタの様子

- ⑤ 企業間交流による女性活躍の水平展開
 - ・異業種交流会
 - ・倶楽部セミナー
 - ・新 SNSを活用した企業間交流

2. 女性への様々な就労支援 (13,871千円)

(1) 再就職準備段階での支援 (8,687千円)

- ⑥ 「女性の再就職準備相談窓口」による相談、交流会、セミナー等



出張相談の様子

(2) 働く女性への支援(5,184千円)

- ⑦ 「働く女性相談窓口」設置
- ⑧ キャリアアップセミナー

4. 女性への暴力防止 (5,000千円)

(1) 新 奈良県性暴力被害者サポートセンター「NARAハート」機能強化

- ⑨ 24時間365日対応の推進
- ⑩ 教員・若年層に対する普及啓発
- ⑪ 倶楽部会員等と連携したパープルリボン啓発活動



パープルリボン啓発活動の様子

3. 新しい生活様式に対応した女性の起業・就労支援 (258千円)

(1) 起業による女性活躍応援 (258千円)

- ⑫ 女性起業家等の交流イベント
- ⑬ 女性起業支援者ネットワーク「Leapなら」



女性起業家セミナーの様子



(2) 新 女性デジタル人材育成プロジェクト

⑭ コンソーシアムと連携した女性デジタル人材の育成

5. 男性の家事・育児等への参画促進(232千円)

(1) 父親の子育て参画促進 (奈良県パパ産休プロジェクト)

- ⑮ 「パパ産休」の取得を企業と推進
- ⑯ 新 なら子育て大学と連携した出張型子育て支援の情報発信



男性の育児参画イメージ

＜問い合わせ先＞
こども・女性局 女性活躍推進課
曾田課長補佐 (内線3351)